

県内保育施設等における ヒヤリハット事例集

**令和4年3月
鳥取県**

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
1	公立	保育所	フォークとコップをもって食器を片付ける際、手を滑らせコップが割れた。	食器は一つずつ片付けるように指導した。
2	公立	保育所	途中入所園児が、部屋を出て玄関から出ようとしていた。	途中入所のため本人の様子がつかめていなかった。あらためて当分は施錠すること、声掛けをしあうことを確認した。
3	公立	保育所	かばんかけに引っかかって転びそうになった。	かばんかけの場所を安全な場所に移動した。
4	公立	保育所	足洗い場（セメントの角は取ってある）の段差につまずくことがあった。	ゴム製のラバーを敷いた。
5	公立	保育所	トイレの使用後、中から扉を開けたら、次の順番を待っていた子どもに扉が当たった。	順番を待つ時の位置を扉から離れるようにテープで線をひいた。
6	公立	保育所	足元がふらついて転んだところ、家具の端にぶつかって青あざになる。	万が一ぶつかってもけがにつながらないように、クッション材を施した。
7	公立	保育所	保育室の窓と押し入れの狭い隙間に入りこみ、頭が抜けなくなることがあった。	すぐに隙間をふさぐ対策をとった。また職員に周知し、他の部屋を確認し、安全点検及び環境の見直しを行った。
8	公立	保育所	登園児が少ない土曜日は、カバン掛けにかけるカバンが少なくなり、カバン掛けの片方に偏りができた為、子どもがカバンからお弁当を出す際にカバン掛けが傾いていた。	土曜日はカバン掛けを使用しない事とした。
9	公立	保育所	かばんかけから水筒を取ろうとして床に落ちてしまった。	かごを準備し床に置くようにした。
10	公立	保育所	廊下を走って衝突した。	お互いが見えないコーナーの床には、ストップマークをつけ子どもたちに周知した。
11	公立	保育所	2歳児男児がトイレに行き、男の子用便器を使用していた。流した後、水流を見ようとしたところバランスを崩し、便器に眉間を打った。子どものはいていたスリッパは、大きいサイズのものだった。	年齢に合ったサイズのスリッパを履けるように配慮した。 必要以上に顔を近づけないことを子どもに知らせた。 スリッパの位置の表示ををわかりやすいように作り直し、子どもがスムーズにスリッパを履いたり脱いだりしやすいようにした。
12	公立	保育所	保育室の出入り口の戸が両方向に開くため、開閉時に手を挟みそうになったことがあった。	片方だけを開閉することにし、出入り口の表示をつけ、園児にも知らせた。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
13	私立	保育所	廊下を走る子どもの姿があり衝突のおそれがあった。	年長児の手作りのポスターを貼った。
14	私立	保育所	1歳児クラスでストーブの柵に登ろうとする子がいた。	柵に段ボールをかぶせて遊べるボードコーナーとした。(夏場のみ)
15	私立	保育所	未満児保育室の開きドアの隙間に園児が指を入れようとした。	ドアの隙間カバーを設置し指詰めを防止した。
16	私立	保育所	走っていた園児が、窓枠にぶつかってしまった。	窓枠にクッション材を取り付けガードをした。
17	私立	保育所	子どもが保育室入口の戸で指を挟みかけた。	戸にスポンジガードを付けた。
18	私立	保育所	使用していないベビーベッド(折りたたみ式)とオムツ交換台を並べて置いていたところ、20cmくらいの隙間があり、その隙間からベッドの中へ潜り込もうとする子どもがあった。	仕切りを作ってベッド下を覆うようにし、中に入れないようにした。
19	私立	保育所	保育士が少し離れた間に近くにいた友だちの食事に手を伸ばし食器をひっくり返していた。	本児はアレルギーがあるので、他児との間隔をあけて座るようにし、保育士は本児の食事が終わるまで側から離れないようにする。
20	私立	保育所	給食や午睡時など活動の切り替えの時間帯に、子ども同士の距離が近く噛みつきそうになった。	子どもの様子にしっかりと目を配りながらお互いが声を掛け合って役割分担を確認した。
21	私立	保育所	保育室の壁と柵の隙間に1歳児の頭部が挟まった。	配置換えをし、隙間や登れるスペースを作らないようにした。
22	私立	保育所	0歳児のベッドにつけていた手作り遊具のゴムが乳児の首に巻き付いた。	玩具を取り外した。
23	私立	保育所	寝ている子の顔を爪などで傷つけた。	0歳児ベッドにネット素材でガードし、他園児が手を入れないようにした。
24	私立	保育所	子供がソファにもたれ下のマットに転落し、床に落ちていたブロックにあたりケガをした。	室内では抱き枕や安全に登れる遊びを取り入れた。
25	私立	保育所	網戸を触っていた児童がそのまま網戸が外れたため転倒した。	業者へ点検を行ってもらった。
26	私立	保育所	椅子の背もたれの隙間に足を入れ込んで座り、そのまま転倒のおそれがあった。	椅子の隙間を覆って足が入らないようにした。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
27	公立	認定こども園	保育室の手洗いマットにつまずいたり、転ぶ、滑るなどがあった。	ノンスリップマットに交換した。
28	公立	認定こども園	おもちゃを入れているかごの目が粗く、そこに園児が指を入れて指の皮がむけた。	かごの目が細かいものに変えた。
29	公立	認定こども園	園児がカバンかけに1方向でカバンを掛けており、移動の際に一斉にカバンを取りに行き、カバンかけが倒れそうだった。	カバンは前後に掛けるよう伝え、一斉に取りにいかないよう徹底した。
30	私立	認定こども園	後期食と完了食が同じワゴンにのっていたためデザート（果物）の配膳を間違えそうになった。	別のワゴンにのせて運ぶ、プレートの色を変える、声出しを行い複数で確認するなど対応を取った。 後期食もアレルギー食と同じ対応で行うようにした。（アレルギーマニュアル参照）
31	私立	認定こども園	弁当持参の日、食中毒予防のため涼しい部屋に弁当を集めていたが、同じ名前の子が同じ柄の弁当袋だったため取り間違えて食べてしまった。	集めた弁当は職員で手渡しするようになった。
32	私立	認定こども園	三段ボックスの上に乗る、窓の鍵に手が届き開けてしまいそうになった。	遊戯室の窓の下には三段ボックスを置かないことを徹底した。
33	私立	認定こども園	合同保育時、他児の遊んでいたビー玉を口に含んでいた。	口に入る大きさの物を扱う際は、保育者が側につき注意した。
34	私立	認定こども園	おやつの前に遊びのコーナーで飛び跳ねていて棚で顔の横を打つ。	活動の変わり目には保育者と一緒に本を見るなど落ち着いて過ごせるようにした。
35	私立	認定こども園	おしぼりをバケツに入れようとしてしゃがんだところ、横にある棚でおでこを打った。	棚とバケツの位置が近かった為、棚の位置を変えた。
36	私立	認定こども園	アレルギー児の誤食があった。	アレルギー児の給食やおやつがハッキリとわかるように、食器やトレーの色を替え、ネームプレートを付けた。何が何に変わったかをメモして知らせ、確認してから食べさせるようにした。
37	国立	幼稚園	園児がローテーブルを持ち上げ、降ろす際に、別の園児の手の上にテーブルの脚が乗ってしまった。	遊びの約束等を職員で確認するとともに、場の設定の仕方を見直した。
38	私立	幼稚園	給食について、除去の必要な子どもに、通常児と同じ献立の一品を食べさせてしまった。	対象児の給食は、給食室において調理師により全てお盆にセッティングし、ラップで覆い、教室まで運び、担任が配膳することを無くした。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
39	私立	地域型保育事業所	2歳児が先生の真似をして、歩き始めた0歳児の手を引いて歩こうとし、一緒に転びそうになった。	1点(特に、自分の担当児童)を注視する傾向があるため、改めて全体を見ることを注意喚起した。
40	私立	地域型保育事業所	玄関の鍵が子どもの手の届く場所にあり、子どもが開けて外に出ようとしていた。	鍵を子どもの手の届かない場所に増設した。
41	私立	地域型保育事業所	机付きの椅子に座っている子(1歳児)が、自ら立ち上がり降りようとした。	椅子と背中の上にクッションを設置した。
42	私立	地域型保育事業所	何も前触れなく、駆け寄って行って噛みつく、前触れなく隣で絵本を読んでいる子の腕に噛みつくことがあった。	支援センターに相談し、保護者と一緒にかかわり方を模索しながら対応した。
43	私立	地域型保育事業所	ブロックで遊んでいる時ブロックに乗ってしまい滑って転び頭を打った。	ブロックに限らず散らばった玩具は箱にしまった。
44	公立	地域型保育事業所	部屋を仕切る柵に衝突しそうになった。	柵の面取り、緩衝材の貼り付けを行った。
45	私立	届出保育施設	アレルギー食対応の園児のクラスで、残飯を水道の所に置き忘れた。	片付け後は直ぐに職員室の決まったゴミ箱に入れた。
46	私立	届出保育施設	アレルギー用給食へアレルギー食材が混入した。	献立表(食材にいたるまで)の読み上げと複数人で確認することを徹底した。
47	私立	届出保育施設	小麦アレルギーの子が登園しているため食品等の持ち込みを禁止しているが、他の園児がパンを持ってきており保育室に持ち込んでいたことがあった。	園からのメール(マチコミ)にて再度周知、玄関に貼り紙を行った。 途中入園の家庭に説明した。 もしなにかが落ちている場合スタッフが回収と掃除を行った。
48	私立	届出保育施設	手洗いの際に踏み台から落ち洗面台に顎を打つ事例があった。	対策として手洗いにつく職員、園児の見守り職員と職員の役割分担を見直した。
49	私立	届出保育施設	玄関では牛乳パックで作った台に座り、靴を履くがそこからジャンプしようとしたり、立とうとする子がいた。	幅を広くし高さを低くし、重さのあるものに作り変え、下には滑り止めシートを敷いて動きにくくした。
50	私立	届出保育施設	部屋の扉を開けていると、子どもが扉を閉めようとして指を挟むことがあった。	扉を開けているときは、ガムテープを貼って動かないようにした。
51	私立	届出保育施設	壁に貼り付けてあるホワイトボードの下に、台を持って来て立った子どもがぶつかりそうになった。	ホワイトボードの角にケガ防止のカバーを張り付けた。
52	私立	届出保育施設	廊下で走った園児が他の園児とぶつかった。	床に線と矢印を入れ、右側通行で動くようにした。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
53	私立	病児・病後児保育施設	ベッドからの転倒・転落があった。	ベッドを撤去した。
54	公立	放課後児童クラブ	ホール内でバドミントンを行っていたが、ラケットが長く、隣りの人に当たりそうだった。	当たっても痛くないウレタン製のラケットで行うように変更した。
55	公立	放課後児童クラブ	階段の手すりにぶらさがり、転落をした。	手すりに転落防止用のパネルをつけた。
56	公立	放課後児童クラブ	展示物などを壁面に貼る際に使っている画鋲が落ちていて子どもが踏んでしまいそうになった。	床に落ちた時に針が上を向かない画鋲に変更した。 ガムテーや両面テープが使用できる箇所は変更した。
57	公立	放課後児童クラブ	体育館遊びの際、はだしで遊んでいる児童がけがをした。	脱げにくい上靴の準備を保護者に伝え、上靴を履くよう指導した。
58	公立	放課後児童クラブ	児童がドアで指を挟みそうになった。	ドアを常時開けておくか、ドアと柱の間にクッションを付けてドアが完全には閉まらないようにした。
59	公立	放課後児童クラブ	ハサミを持ちチョキチョキ切る真似をしながら歩く子供がいた。	注意するとともに、張り紙をして全体に伝え、片づける場所にも大きく名前を書いた。
60	公立	放課後児童クラブ	保護マットに長いピンを刺すと、外れた場合足に刺さる危険があった。	マットがずれて滑ることがあったため、長いピンも10センチ間隔で差し込んだ。
61	公立	放課後児童クラブ	室内で転倒し、長机で頭部を打った児童がいた。	長机を角も丸いもの買い替え、ロッカーとして使用しているカラーボックスには緩衝材を付けて対応した。
62	私立	放課後児童クラブ	児童が押し入れに物をしまう際、押し入れの中で遊んでいる児童がいるのに気付かず、閉めて足を挟みかけた。	児童には押し入れの前まで手伝ってもらい、扉は支援員のみしか開閉しないルールを設定した。
63	私立	放課後児童クラブ	折りたたみ机の脚部分が倒れかけた。	使用の際は固定できるようひもで結んだ。
64	私立	放課後児童クラブ	座卓の留め金がゆるんでいて、児童の足へ倒れかけた。	座卓を消毒する際に留め金も緩んでないかチェックした。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
1	公立	保育所	園庭のフェンス下に幅10cm位のコンクリートの溝があり、そこに木の板をはめ込んでいた。年長児が板を外し、虫探しをしていた。そこへ2歳児男児が見に来て、足がはまりそうになった。	再度板をはめ込み、隙間に土を入れ動かさないようにし、子ども達にも板を外さないよう話した。
2	公立	保育所	1歳児が鉄棒の下を通過した際、身長が鉄棒の高さぎりぎり衝突しそうになった。	使用しない時は、鉄棒にスポンジをまいたり三角コーンを置くなどの対策を取った。
3	公立	保育所	プランターの土をひっくり返し、虫探しをしていた子どもたちがガラスの破片を見つけた。	日頃から、職員が園庭周りのプランターの手入れや草取りなどの時に、点検・除去をした。遊ぶ前には石拾いやゴミ拾いをするようにした。
4	公立	保育所	鬼ごっこをしていて枝で擦り傷を作った。	園庭の庭木の剪定を実施し、進入禁止の箇所を設けた。
5	公立	保育所	ジャングルジムのボルトキャップが脱落していた。	ボルトキャップをすべて取り付けた。
6	公立	保育所	園庭の植木に蜂の巣を発見した。	殺虫剤で駆除した。
7	公立	保育所	3歳未満児保育室のサッシの鍵が、子どもの手の届く位置にあり開けてしまうことがあった。	鍵を高い位置に付替えた。
8	公立	保育所	園庭の柵の鍵を開閉していた。	ひもで鍵が簡単に開かないようにした。
9	公立	保育所	雪の日、長靴をはいていた子どもがスロープで転んでしまった。	玄関内にもバスタオル等を敷いて滑り防止を行った。
10	公立	保育所	降園時に玄関で保護者と話をしている時に、子どもが玄関から出ようとしていた。	保護者との話があるときは、前もって職員間で連絡を取り合い共通理解をし、話が終わるまでは担当の保育士が保育をすることとした。子どもを保護者に渡してからは話をしないことを徹底した。
11	公立	保育所	コンクリートの塀に手をつけて登れるようになっていた。	土が風等により地面に高さが出てしまったため、土を削り高さを調整した。
12	公立	保育所	軒下に蜂の巣を発見した。	駆除し、職員で建物まわりの総点検を行った。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
13	公立	保育所	降園時、門扉から出るのに保護者と一緒に歩かず、先走ってしまう園児がいた。	安易には開かない門扉にした。門扉から駐車場までを照らす人感センサーに交換した。
14	私立	保育所	園庭に子どもの掘った穴が大きくなり、つまずき転倒のおそれがあった。	穴を埋めた。
15	私立	保育所	暖かくなってきた頃から、裸足で外遊びをしていたが、クローバーにミツバチがいた。	靴をはいて遊ぶこととした。 クローバーの除草をした。
16	私立	保育所	園庭鉄棒に頭をぶつける事例があった。	鉄棒に衝撃緩和材を巻き付けた。
17	私立	保育所	砂場や芝生に"ハネカクシ"という刺されると火傷のような症状になる害虫が発生した。	園児が園庭で外遊びを始める前に発見されたため、外遊びを禁止し、害虫駆除を専門業者に依頼して被害を未然に防いだ。
18	私立	保育所	門扉の開閉を子どもが行った。	門扉上部(子供の手の届かない高さ)に掛ひもをつけるなど、2重に施錠対策を取った。
19	私立	保育所	園庭フェンスの隙間から駐車場に出ようとした園児がいた。	隙間を補強した。
20	私立	保育所	登園時、母親を追いかけて玄関から出ようとした。	人数の把握、子どもの居場所の確認などの徹底、必ず玄関に職員が立つこととした。
21	公立	認定こども園	滑り台を逆から登ろうとして、通常で滑ってきた園児とぶつかる。	各クラスで、園児に固定遊具の使い方を再度周知した。
22	公立	認定こども園	園前の横断歩道を子どもだけで渡っていた。	交通安全指導として園児全体に登降園はお家の人と手をつなぐことをルールとし、啓発文章を玄関に掲示した。
23	私立	認定こども園	前庭の「カメ池」を囲んでいるネットの柵をまたいで乗り越えて落ちそうになった。	ネットを撤去し、金属製のフェンスを新たに設置した。
24	私立	認定こども園	園庭遊びからトイレに入った3歳児がそのまま玄関のカギを開け門扉付近まで行っていた。	玄関引き戸上部にもカギを設置するとともに園児たちにも危険性や約束事について話をし、園児が園舎内に戻る際には必ず中にいる職員に声をかけること、門扉は必ず施錠することとした。
25	私立	認定こども園	保護者の送迎用出入り口から黙って出てしまう園児があった。	ベビーゲートと扉で2重にし、安全な環境を整備した。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
26	私立	届出保育施設	玄関自動ドアを開けるボタンが子どもの手が届く位置にあり、勝手に外に出る子どもがいた。	ボタンを子どもの手が届かない位置に付け替え、保護者と一緒に玄関を出ることを徹底した。
27	私立	届出保育施設	裏庭で遊んでいるときに、子どもが表の方まで1人で行ったことがあった。	網で簡易的な柵を設置した。
28	私立	届出保育施設	前庭へ出掛ける時、間違えて道路に向かって走り出した子どもがいた。	引率の職員で連携し、玄関スロープから前庭へ行くところで誘導するように保育者を必ず1名配置した。
29	公立	放課後児童クラブ	ブランコの周りに子どもが近づき、ぶつかりそうになった。	ブランコに乗っている子がいる時には後ろを通らない、近づかないことを徹底した。
30	公立	放課後児童クラブ	館庭のドングリの木に蜂が集まってきた。	木を伐採した。
31	公立	放課後児童クラブ	庭にある樹木の枝を振り、人に当たり、キズになった。	枝は事前に片づけた。
32	公立	放課後児童クラブ	蜂の巣が施設入口横の倉庫にできていた。	建物内に蜂が入らないように入口の開閉の注意をして、扉に張り紙をした。